

(地方公共団体名)の
概要・特徴等

三島市は人口109,205人、高齢化率29.3%(共にR2.3.31現在)で面積は62.02km²です。温暖な気候、美しい富士の眺望、湧水、緑あふれる恵まれた自然環境です。静岡県は健康寿命において男女とも全国2位(H30.3厚労省発表)です。また、交通も新幹線三島駅から品川まで最短37分です。

解決したい地域課題

課題分野:①医療・介護・健康 ②自治体DX・EBPM ③スマートシティ

本市では、2012年度より「スマートウエルネスみしま」として「ウエルネス(健幸)」をまちづくりの中核に位置づけ、保健医療分野だけでなく、生活環境や地域社会、学校や企業などあらゆる分野を視野に入れた取り組みにより、人はもとより都市そのものを健康にすることで、市民が自然に健康で豊かになれる新たな都市モデルの構築を目指しています。

しかし、市の実施する様々な事業においては、参加者が健康に関心のある一定層に留まり、無関心層(特に高齢者や30~40歳台の女性)へのアプローチができていない、という問題があります。

本市としては健康イベント等を積極的に企画し、無関心層の誘導に取り組んでいますが、①無関心層である市民の行動パターンを把握できていない、②イベントで作った接点から継続的なコミュニケーションに誘導する手段がない、の2点が問題解決を阻んでいると考えています。

今回は、①行動パターンの把握、②継続的なコミュニケーション、という課題を解決するにあたり、限られた職員・ノウハウ・財政による解決が難しいことから、民間等と連携し、ICTや各種データを利活用し、EBPMの取組を行うことで解決を図ることを期待しています。

この取組を踏まえ、当市は、自治体DXに取り組み、同時に、地域課題解決を通じて、Society5.0社会の実現にも通じる「スマートウエルネスみしま」の実現の推進を目指したいと考えています。

ソリューション提案に 対するアピールポイント

本市では、2011年度に「スマートウエルネスシティ首長研究会」に加盟して以来、様々な取組実績とデータの蓄積を行ってきました。このような取組実績等を活かして、官民連携による取り組みが実施しやすいです。健康推進部が中心となり、庁内の関連課や、市内外の関係者との各種調整を行います。